

平成25年度 事業計画

自 平成25年4月1日
至 平成26年3月31日

1. 第 34 回社員総会

平成25年6月21日(金)に、平成24年度事業報告および収支決算報告、平成25年度役員選出の審議を行い、平成25年度事業計画および収支予算についての報告を行う。

2. 理事会

理事会を2回以上開催し、会務運営上の諸事項を決定する。必要に応じて書面会議を開催する。

3. 常任理事会

常任理事会を3回以上開催し、会員サービス、会計業務およびNG事業（国内シンポジウム、国際シンポジウム・国際会議の支援、創造的提案事業、表彰制度等）についての会務運営上の重要事項を審議する。三役調整会議を実施し、会務運営事項の整理を行う。

4. 専門幹事会

会務運営に関する計画立案ならびに事務処理を行う。理事会または常任理事会において専門幹事会のあり方を議論する。

5. ISRM 事業への参加・協力

ISRM Council meeting および ARMS Council meeting への協力・参加

6. アジア諸国を中心とした国際交流

国内シンポジウム等における講演会の開催などを行う。今年度は、RS2013での基調講演等を支援する。

7. 委員会

(1) 編集委員会

- 1) 「岩の力学ニュース No.107～110」の編集および発行
- 2) 「岩の力学'12 (CD-ROM)」の発行および「岩の力学'13 (CD-ROM)」の編集
- 3) RockNet 委員会への定期的情報提供

(2) 国際技術委員会

- 1) 岩盤工学に関する国内技術の国際化に関する支援
- 2) 日本開催の国際会議の支援

- 3) ISRMのCommissionへの積極的参加についての支援
- 4) AE laboratory works関連のCommissionのWG設置・活動（WGリーダー：石田理事，メンバー：3名程度，会議回数2回程度）
- 5) Vice President at Large（大西副総裁）発案事業（Geo-Hazard in Asian）の支援
- 6) 若手技術者の国際プログラム参加に関する情報収集と広報支援

(3) 電子ジャーナル委員会

- 1) 第9巻第1号(13年1月～12月)の発刊
- 2) 第10巻の編集準備
- 3) Back NumberのJ-Stageへの登載およびJ-Stage搭載に伴う投稿規程の修正

(4) Rock Net 委員会

- 1) ニュース配信
- 2) HP のコンテンツ更新
- 3) 連合会活動への支援
- 4) 新コンテンツの検討
- 5) ISRM本部の電子化事業との連動・連携

(5) 岩の力学連合会賞選考委員会

- 1) 連合会賞「論文賞」「技術賞」「フロンティア賞」の募集
- 2) 推薦業績の審査
- 3) 連合会賞の決定
- 4) 授与規則，細則，内規等の見直し

(6) 選挙管理委員会

- 1) 代表社員の選出

(7) 総務委員会

- 1) 会計，労務管理
- 2) 予算案の作成
- 3) 理事会，拡大上常任理事会の運営
- 4) 三役調整会議の規約の整備，運営
- 5) 企画WG
 - ・ 規則・規程類の整備：理事会規則，常任理事会規則等
 - ・ 理事会・常任理事会からの指示事項の検討

6) 海外連絡WG

- ・ ISRM本部および海外との連絡業務
- ・ 国際シンポジウム案内等の Rock Net 発信
- ・ アジア諸国等との国際交流の計画策定および実施

- ・ RS2013開催時の特別講演等の実施

8. 国内シンポジウム，国際シンポジウムの開催

会員相互の情報交換および我が国の岩の力学に関連する技術の国際発信を目的として国内シンポジウムおよび国際シンポジウムの開催，開催準備を行う。これらの行事に対しては，基金による支援を行うため中期的な基金の支出計画の策定を行う。これらのシンポジウム等は，それぞれに個別の委員会を設置し活動を進める。

(1) RS2013 組織委員会

- 1) 論文受付
- 2) 登録業務
- 3) 本会議の実施

(2) ARMS8 組織委員会

- 1) 2nd サーキュラーの作成
- 2) 論文募集の開始と概要査読の実施
- 3) ISRM TCへのWS等の開催打診
- 4) 募金活動
- 5) 組織委員会1回，総務委員会2回以上，学部部会2回以上の開催
- 6) 基調講演者等の選定とプログラム編成

9. 50周年記念実行委員会

- 1) 事業内容検討
- 2) 記念誌の構成の検討
- 3) 記念誌執筆要領作成と依頼

10. その他

- ・ 各学会開催行事などの共催・後援

以上